

外遊び 子ども癒やす

合志市 家族で「青空フェス」



障害児や長期療養中の子どもと家族を対象にした「青空フェス2018」が29日、合志市の県農業公園カントリーパークで開かれ、外遊びの機会の少ない子どもたちが芝生広場で楽しんだ。

子どもの訪問看護などに取り組む地元の認定NPO法人NEXTTEP（ネクステップ）主催。熊本地震以降、毎年実施しており、3回目。広場に設置された高さ

「青空フェス2018」
で、くまモンのステージを楽しむ家族ら
＝合志市

約6メートルの竹の巨大ブランコや、木のおもちゃコーナーが子どもたちの人気を集めた。くまモン体操や歌のステージもあり、唐揚げやクレープなどの飲食テントが並んだ。

菊池市の益崎ちあきさん(44)は、光矢君(7)と親子で参加。「息子は人工呼吸器などが手放せず、体調が急変することもあって外出は難しい。このイベントは医師や看護師のサポートもあり、家族で外で過ごせる貴重な機会。毎回楽しみ」と笑顔を見せた。

会場には医療機器用の電源なども用意。同法人理事長で小児科医の島津智之さん(41)は「開催は大変だが、学生ボランティアや関係団体に協力してもらい、外遊びしづらい親子がリフレッシュできる場にした」と話した。(宮崎あずさ)